

## 令和4年度野菜花き課題別研究会開催概要

### 1. 課題名

ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題

### 2. 趣旨

近年、国民の野菜に対するニーズはますます多様化・高度化する一方で、野菜の生産を取り巻く情勢は厳しく、生産の維持・拡大を図るには優れた品種・魅力ある品種の育成や栽培技術の開発が必要である。本課題別研究会では、ウリ科野菜について育種と栽培の現状と問題点を整理し、今後の研究および技術開発の推進方向を明らかにする。

### 3. 主催

農研機構 野菜花き研究部門、一般社団法人日本種苗協会(共催)

### 4. 開催日時

令和4年 10月 25日(火)12:30 ～ 26日(水)12:00

### 5. 開催場所(方法)

津リージョンプラザ(津市西丸之内23-1、近鉄津新町駅から徒歩11分)

(注) 新型コロナウイルス感染状況の悪化により、オンライン開催(Zoom 利用)に変更となります場合は、申込時に登録頂くメールアドレス宛、あらためまして、参加の可否等にかかる確認メールを配信させていただきます。

### 6. 事務局

(研究会全般について)

野菜花き品種育成研究領域 施設野菜花き育種グループ

川頭 洋一

電話:050-3533-4610 E-mail:yakakadai@ml.affrc.go.jp

(研究会参加申込みについて)

研究推進部 研究推進室 安濃企画連携チーム

追掛 志信

電話:050-3533-1835 E-mail:yakakadai@ml.affrc.go.jp

(裏面につづく)

第1日目(10月25日)

I. ウリ科野菜品種紹介(会場:展示室)(12:30~13:30)

司会 タキイ種苗株式会社 雨村 拓央

II. 全体会議(13:45~17:30)(会場:お城ホール)

座長 農研機構野菜花き研究部門 川頭 洋一

1. 13:45~13:55 開会挨拶
2. 13:55~14:25 ウリ科野菜の小売りでの現状と今後の動向  
イオンアグリ創造株式会社 西村 英規
3. 14:25~14:55 輸出入植物検疫について  
農林水産省消費・安全局 城戸 剛、山路 拓也
4. 14:55~15:25 ゲノム編集技術による野菜の品種改良の現状と今後の展望  
筑波大学 江面 浩

(休憩 15:25~15:40)

座長 農研機構野菜花き研究部門 杉山 充啓

5. 15:40~16:10 ウリ科野菜の遺伝資源収集と病害抵抗性選抜マーカーについて  
農研機構野菜花き研究部門 下村 晃一郎
6. 16:10~16:40 キュウリ育種に取り組んだ40年を振り返って  
株式会社埼玉原種育成会 清野 克彦
7. 16:40~17:10 キュウリの高効率・高収益生産技術について  
農研機構野菜花き研究部門 安 東赫
8. 17:10~17:30 総合討論

第2日目(10月26日)

III. 全体会議(9:00~12:00)(会場:お城ホール)

座長 農研機構野菜花き研究部門 下村 晃一郎

1. 9:00~ 9:30 ホモプシス根腐病対策の現状と展望  
岩手県農業研究センター 岩館 康哉
2. 9:30~10:00 宮崎県におけるきゅうり産地の現状と展望  
宮崎県総合農業試験場 相見 直人
3. 10:00~10:30 千葉県のスイカ産地の現状と課題  
千葉県農林総合研究センター 芹川 誉

(休憩 10:30~10:40)

座長 八江農芸株式会社 志摩 二郎

4. 10:40~11:10 カボチャの品種・栽培の現状と展望  
農研機構北海道農業研究センター 嘉見 大助
  5. 11:10~11:40 茨城県オリジナルメロン品種「イバラキング」の普及に向けた取組について  
茨城県農業総合センター 石井 佳美
- 座長 農研機構野菜花き研究部門 太田 泉
6. 11:40~11:55 総合討論
  7. 11:55~12:00 閉会挨拶および事務連絡

注) 講演課題名等は変更される場合がございます。